

世界の蓄電池のリユース・リサイクル最前線

～リユース・リサイクルビジネス全体像と主要企業の動向～

— 講師 — 産業戦略アナリスト 大串 康彦 氏

日時 2025年2月6日(木) 午後1時～3時
受講方法 会場受講／ライブ配信／アーカイブ配信(2週間、何度でもご視聴可)
会場 SSK セミナールーム 東京都港区西新橋2-6-2 ザイマックス西新橋ビル4F

[重点講義内容]

世界中で急激に普及する電気自動車(EV)・定置用蓄電池に伴い、時間差をおいて大量に発生する使用済み蓄電池の処理が問題となっている。また、蓄電池の原料となる希少金属は中国がサプライチェーンを掌握しており、脱中国のサプライチェーン構築のためにもリユース・リサイクルが重要となる。しかし、リユース・リサイクルは現時点では未成熟である。

本講義では、リチウムイオン電池のリユース・リサイクルのプロセスを解説した上で、日本・海外の主要プレイヤーや事例を紹介する。リユース・リサイクルビジネスの全体像および業界の最新情報を提供する。

1. 蓄電池のリユース・リサイクルの概要
(1)なぜ重要か (2)関連政策
2. リユースビジネス
(1)リユースのプロセス (2)事例 (3)課題
3. リサイクルビジネス
(1)リサイクルのプロセス (2)事例 (3)課題
4. 考察と示唆
5. 質疑応答／名刺交換

PROFILE 大串 康彦(おおぐし やすひこ)氏

1992年 荏原製作所入社後、技術者として環境プラントやエネルギー関連技術開発を担当。2006年から2010年までカナダの電力会社 BC Hydro 社に在籍し、スマートグリッド関連事業の企画を担当。2016年から2017年まで英国の再生可能エネルギー開発事業者で蓄電システムインテグレーターの RES(Renewable Energy Systems)の日本法人にて系統用蓄電池事業に携わる。またカウラ株式会社のアドバイザーとして蓄電池リユースビジネスの検討にも参画。現在は海外企業での経験を基に、グローバルな政策分析と企業戦略の立案を実施。日経エネルギーNextにて連載記事「蓄電池の地政学」(<https://project.nikkeibp.co.jp/energy/atcl/19/feature/00022/>)を執筆中、著書に「蓄電池ビジネス戦略レポート」(<https://project.nikkeibp.co.jp/bpi/report/compendium/battery/>)がある。

